

平成 17 年国勢調査第 2 次基本集計結果（福井県分）の概要

〔調査基準日：平成 17 年 10 月 1 日〕

1 **労働力状態** ……全国トップレベルの労働力率・就業率

労働力率は 64.0% で全国第 4 位である。女性の労働力率は 53.5% で昭和 55 年以降全国第 1 位である。

就業率は 61.3% で、全国第 4 位である。女性の就業率は 51.6% で今回全国 1 位となった。

労働力率は、前回（平成 12 年）と比べると 15～64 歳で上昇したものの、65 歳以上の高齢者では低下し、全体では 1.1 ポイント低下した。

就業率は、前回と比べると 15～64 歳で横ばいであるが、65 歳以上の高齢者では低下し、全体では 1.8 ポイント低下した。

65 歳以上高齢者の労働力率・就業率の低下は、高齢者人口が 9.4% 増加したことが要因である。

全国的に労働力率・就業率は、低下傾向にある。

労働力率：15 歳以上人口に占める労働力人口の割合

就業率：15 歳以上人口に占める就業者の割合

2 **夫婦の就業状況** ……全国第 1 位の共働き率

共働き率は 58.2% で、平成 7 年以降全国第 1 位である。

前回に比べ 2.3 ポイント低下しているが、夫の年齢が 65 歳以上の高齢夫婦の割合が 8.2% 増加したことが要因である。

全国的にも共働き率は、低下傾向にある。

共働き率：夫婦のいる一般世帯数に占める共働き世帯数の割合

3 **従業上の地位別就業者数** ……常雇の割合は全国第 1 位

雇用に占める常雇の割合は 86.4% で、全国第 1 位である。

常雇：期間を定めずに、または 1 年を超える期間を定めて雇われている人

4 **就業時間** ……短縮化の傾向

就業者の平均週間就業時間は、41.8 時間で、前回と比較して 1.2 時間短くなっている。

産業別にみると、最も多いのは運輸業の46.9時間、最も少ないのは農業の32.2時間である。

5 **産業別就業者数**製造業が最も多いものの割合は低下

就業者を産業別にみると、「製造業」が95,080人と最も多く、次いで「卸売、小売業」が72,014人、「サービス業（他に分類されないもの）」が52,948人、「建設業」が45,298人、「医療、福祉」が38,411人となっている。

就業者全体に占める割合は製造業が22.4%で最も多くなっているが、前回に比べ、2.8ポイント低下している。

6 **外国人就業者数**増加傾向の中で最も多いのは中国人

県内に在住する外国人就業者数は、7,163人で、前回に比べ、723人増加している（11.2%増）。

国別にみると、中国が最も多く、次いで韓国・朝鮮、ブラジルとなっている。

用語の説明

